



2030

赤穂市総合計画  
後期基本計画

2030

赤穂市総合戦略

概要版



赤穂市

# 2030 赤穂市総合計画 後期基本計画

## 総合計画の位置づけ

総合計画は、市政運営における最上位の計画として位置づけられ、市民・各種団体・事業者・行政が協働してまちづくりを進めていくための方向性を示す基本的な指針です。

### 2030年（令和12年）に向けた赤穂市の将来像

#### まちづくりの3つの視点

##### 人口減少抑制の視点

将来的な人口の減少は避けられませんが、赤穂市としての市政運営を安定的・持続的なものとするために、人口減少の抑制を図るとともに、少子高齢化に適切に対応できるまちづくりの方向性が重要です。

##### 地域共生社会構築の視点

将来的な人口構造等の変化を踏まえながら、官民を問わず、サービスの“支え手”“受け手”といった関係を超え、市民や地域の多様な主体が参画しつながら、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会（地域共生社会）の実現を目指すまちづくりの方向性が重要です。

##### 地域活性化の視点

自然や歴史・文化・伝統など地域の特性を踏まえた経済の活性化、雇用機会の創出を図り、また、次世代を見据えたAIやIoTなどの活用により、将来にわたって人が集い、にぎわいをもたらすようなまちづくりの方向性が重要です。

#### 将来像（まちづくりビジョン）

自然と歴史に育まれ  
笑顔と希望あふれる 活力のあるまち

##### ～自然と歴史に育まれ～

- 瀬戸内海国立公園の美しい海岸線、名水百選にも選ばれた清流千種川、時を超えて語り継がれる赤穂義士、日本遺産に認定された赤穂の塩・北前船寄港地のストーリー、古代ロマンあふれる有年の遺跡など、誰もが癒され、楽しめる本市の多様な自然・歴史資源を大切にするとともに、これら地域資源を活用しながら、次世代へ継承していきます。

##### ～笑顔と希望あふれる～

- 市民の誰もが、将来にわたって、自分らしく、生きがいをもって心地よく暮らせる、笑顔と希望があふれるまちを目指します。
- ひとりの笑顔がみんなの笑顔につながる共生のまちづくりを進めます。

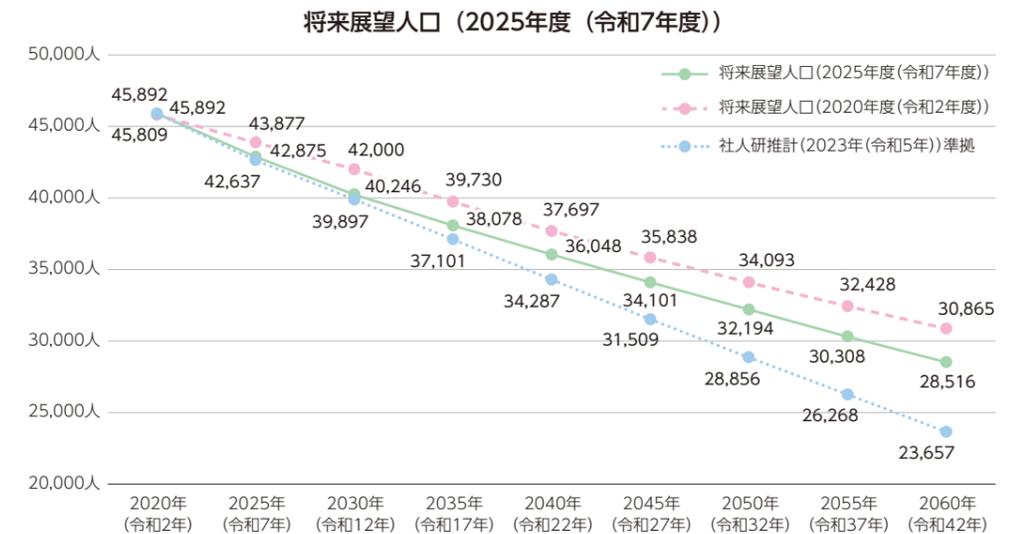
##### ～活力のあるまち～

- 市民の誰もが、元気いっぱい活躍している姿の実現と、赤穂の魅力の発信による交流や産業の振興によるにぎわいのあるまちを目指します。

## 将来展望人口（人口ビジョン）の見直し

「総合戦略」を含む、本計画に基づく人口減少対策や将来像の実現を通じて、人口減少の抑制へと導き、2030年（令和12年）には40,000人を維持する規模の人口確保を目指します。

2030年（令和12年）の目標人口：40,000人を維持



## 将来像実現に向けた4つの柱

将来像の実現に向けた基本的な方向性を「安心」・「快適」・「元気」・「人」の4つの柱に設定します。

### 安心

誰もが健やかに暮らせる  
安心と安全のまちづくり

### 快適

自然環境と都市環境とが  
調和した住みやすい  
まちづくり

### 元気

産業と地域資源を  
活かした魅力あふれる  
まちづくり

### 人

歴史と文化が息づく人と  
コミュニティを育む  
まちづくり

# 将来像実現に向けた4つの柱

## 安心

誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり

### 誰もが安心して暮らせる地域社会の構築

●身近な地域の中で、市民が互いに支え合い、助け合うことのできる環境・仕組みを構築し、出産・子育てから老後まで生涯を通じて安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

- ①多様なつながりと支え合いによる地域福祉を進める
- ②すべての子どもと子育て家庭を地域全体で支える
- ③障がいの有無に関わらず尊重しあえる共生社会を実現する
- ④高齢者が生きがいをもって健やかに暮らせる環境をつくる
- ⑤社会保障制度を適切かつ健全に運営する

### 健康づくりの推進といのちを守る地域医療の充実

●市民自らが主体的に健康づくりに取り組むことのできる保健と、安心できる医療の体制・環境の整備を通じて、市民がいつまでも健康に暮らすことのできるまちを目指します。

- ⑥市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援する
- ⑦市民が安心できる地域医療体制をつくる

### 安全な暮らしを実現する強靱な都市基盤の整備

●風水害対策、地震対策を含めた総合的な危機管理体制の強化を進め、災害に強い強靱なまちを目指すとともに、日常の防犯、交通安全、消防・救急など、市民の生命・財産を守る環境整備により、安全に安心して暮らすことのできるまちを目指します。

- ⑧災害に強い安全で強靱なまちをつくる
- ⑨安心な暮らしを支える消防・救急体制をつくる
- ⑩交通事故や犯罪のない安全な暮らしを実現する

## 快適

自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり

### 快適で魅力ある都市空間の形成

●自然環境と調和した都市基盤の整備を進め、市民が潤いと安らぎを感じることのできる快適で赤穂らしい都市景観の形成を目指します。

- ⑪地域の特性に応じた土地利用を推進する
- ⑫利便性・機能性の高い道路網と公共交通体系を構築する
- ⑬水とみどり豊かな都市をつくる

### 自然環境の保全と住環境の充実

●快適で機能的な住環境の整備を進めるとともに、自然環境の保全、生活環境の向上に取り組み、資源循環型社会の形成を目指します。

- ⑭豊かな自然環境・生活環境を保全する
- ⑮快適で潤いのある住環境をつくる

# 将来像実現に向けた4つの柱

## 元気

産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり

### 活力とにぎわいのある地域産業の振興

●地域資源を活かした産業の充実を図り、赤穂市の地域ブランドの強化・向上により、観光を含めた地域産業の振興とひと・モノが行き交うにぎわいのあるまちを目指します。

- ⑯活力とにぎわいのある農業・漁業を実現する
- ⑰地域産業を振興し就労環境を充実する
- ⑱魅力と集客力のある観光を振興する

### さまざまな人・地域との活気ある交流の促進

●住み慣れた身近な地域における人と人、人と地域とのつながりを大切に、地域間交流の活性化や広域連携の強化を図り、定住促進を視野に入れた交流が盛んなまちを目指します。

- ⑲特色ある地域間交流を推進する
- ⑳住み続けたい赤穂市の魅力で移住・定住を促進する

## 人

歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり

### 次代を担う人材を育てる教育の推進

●子どもを取り巻く教育環境・地域環境の充実を図り、郷土を愛し、夢と希望をもって学び、生きる力を育むことのできるまちを目指します。

- ㉑夢と志を育むことのできる教育環境をつくる
- ㉒未来を拓く青少年の若い力を育てる

### 歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築

●市民が生涯にわたって本市固有の歴史・文化等に親しみ、学ぶことのできる環境を整備し、誰もが豊かな心をもっていきいきと、身近な地域コミュニティの一員として暮らすことのできるまちを目指します。

- ㉓生涯にわたり主体的に学び楽しめる環境をつくる
- ㉔互いが尊重しあいすべての人が自分らしく生きることができると社会を実現する
- ㉕歴史文化遺産を保存継承し未来に向けて活用する
- ㉖地域の多様なコミュニティ活動を活性化

### 市民と協働する市政運営の推進

●開かれた行政を推進し、市民の主体的なまちづくりへの参画と協働のまちづくりを促進するとともに、効率的・効果的な行政運営と安定的な財政運営を通じて、赤穂市の新たな未来へとつながる信頼あるまちづくりを目指します。

- ㉗市民に開かれた健全で効率的な行財政運営を推進する

# 2030 赤穂市総合戦略

## 2030赤穂市総合戦略・2030赤穂市人口ビジョンとは

「2030赤穂市人口ビジョン」は2021年度（令和3年度）に策定した人口ビジョンを基礎としつつ、国の新たな方針や社人研推計の結果を踏まえ、今後の赤穂市における将来展望人口を定めたものです。

「2030赤穂市総合戦略」は、新たな人口ビジョンに掲げる将来展望人口の実現に向け、基本戦略及びそれに基づく施策や取組を明らかにするとともに、本市の最上位計画「2030赤穂市総合計画」との整合を図り、その施策の方針や展開とも考え方を共有しながら一体的に施策を推進するものです。

## 将来展望人口（人口ビジョン）

### 2025赤穂市人口ビジョンの検証

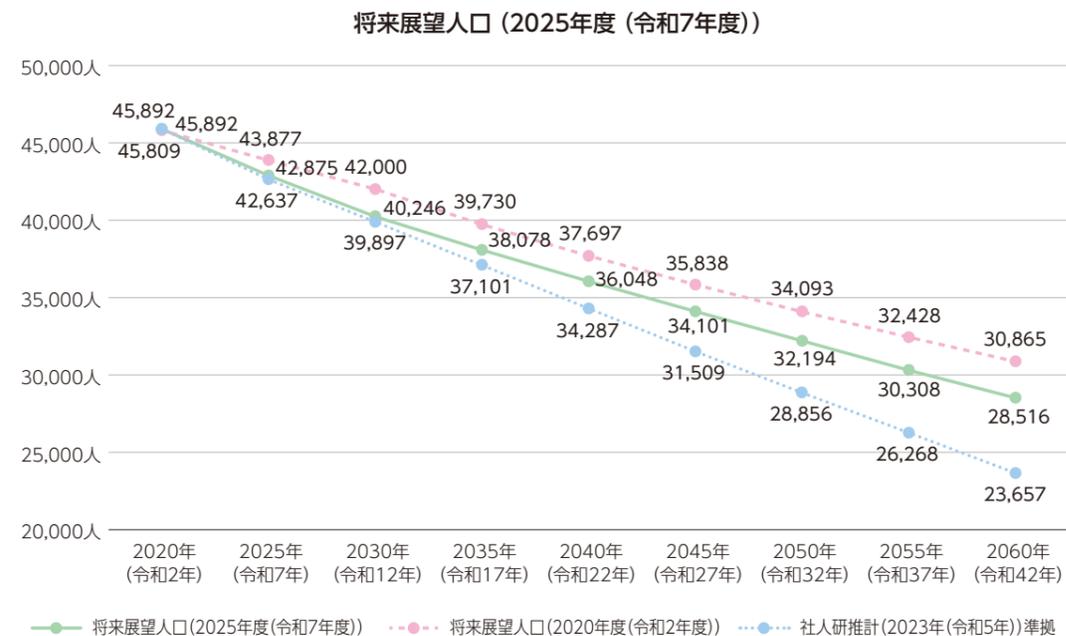
自然減及び社会減の影響により総人口は2021年度（令和3年度）に策定した人口ビジョンの目標値を1.5%下回る43,218人となっています。

### 2030赤穂市人口ビジョンの設定

これまでの人口動態の推移、2023年（令和5年）に示された社人研推計値、国の新たな方針を踏まえて、将来展望人口を次の想定の下、新たに設定することとします。

- ◆合計特殊出生率は長期的には2060年（令和42年）に人口置換水準の2.07とし、2040年（令和22年）に1.6、2050年（令和32年）に1.8を目指す
- ◆2035年（令和17年）までに転出入（社会増減）が均衡となるように設定

## 2060年（令和42年）の将来展望人口：28,000人程度



## 1 2030戦略の視点

「2030赤穂市総合戦略」を推進するに当たり、次の視点により重点的に取り組みます。

- (1) 地域産業の競争力を強化し、地域の稼ぐ力を高めるとともに、地域を支える産業の振興や起業を促進します。また、多様な仕事の選択肢を増やすとともに、事業者と人材とをつなぐ取組など、人材の集積により雇用の創出と質の向上を図り、地域経済の持続的な発展を目指します。
- (2) 赤穂市の魅力を発信することにより、市外からの来訪者を増やし、継続して多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、就業機会の拡大や定住意識の醸成、移住施策の充実により、社会動態（転入・転出）の改善を図ります。また、公共交通などの充実・確保により、誰もが安心して暮らし続けることができる持続可能なまちを目指します。
- (3) 結婚、妊娠、出産、子育てへの不安を取り除き、安心してその実現を目指すことができる相談・支援体制の充実を図るとともに、仕事と子育ての両立ができる環境を整えるなど、若者が将来に希望を抱くことができ、地域全体で子育てを応援するまちづくりを推進します。また、防災や防犯対策等の充実を図り、市民の生命と暮らしを守る安全・安心な地域づくりを推進します。
- (4) 行政と地域、学校と地域、自治体間の連携等により、地域の課題解決と活性化を図り、郷土愛の醸成や地域の個性を生かした魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、地域住民が互いに支えあい、生涯にわたって健康で生き生きと暮らせる共生社会を目指します。また、DX（デジタル・トランスフォーメーション）への取組により、市民の利便性の向上と行政の業務改善（BPR）を図ります。

## 2 基本目標と戦略体系

将来展望人口の実現に向けた戦略の視点を踏まえ、地域の価値創出（産業・雇用）、社会動態（転入・転出）、自然動態（出生・死亡）の3つの柱に、地域の魅力創出（地域内連携・地域間連携・DX推進）を加えた4つの柱による戦略体系を基本目標とします。



## 基本戦略1 地域資源を活かし、価値を生み出すまちをつくる

### 【基本的方向】

地域産業の競争力を強化し、地域の稼ぐ力を高めるとともに、地域を支える産業の振興や起業を促進します。また、多様な仕事の選択肢を増やすとともに、事業者と人材とをつなぐ取組など、人材の集積により雇用の創出と質の向上を図り、地域経済の持続的な発展を目指します。

### 【KGI】

KGI	基準値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
一人当たり市民所得	3,084 千円	3,700 千円
法人市民税（均等割） 課税法人数及び従業員数	1,037 法人 11,172 人	1,100 法人 11,500 人

### 【基本施策】

(1) 産業の振興 (2) 多様な就業機会の創出

## 基本戦略2 人が行き交い、暮らしたくなるまちをつくる

### 【基本的方向】

赤穂市の魅力を発信することにより、市外からの来訪者を増やし、継続して多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、就業機会の拡大や定住意識の醸成、移住施策の充実により、社会動態（転入・転出）の改善を図ります。また、公共交通などの充実・確保により、誰もが安心して暮らし続けることができる持続可能なまちを目指します。

### 【KGI】

KGI	基準値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
観光入込客数	108.2 万人 (2023 年度)	150 万人
社会増減（転入 - 転出）数	△ 192 人 (2024 年)	△ 30 人 (2030 年)
転入者数	1,183 人	1,300 人
転出者数	1,375 人	1,330 人

### 【基本施策】

(1) 観光・関係人口の創出 (2) 転入・定住の仕組みと魅力創出 (3) アクセシビリティの維持・向上

## 基本戦略3 こどもを産み育てやすいまちをつくる

### 【基本的方向】

結婚、妊娠、出産、子育てへの不安を取り除き、安心してその実現を目指すことができる相談・支援体制の充実を図るとともに、仕事と子育ての両立ができる環境を整えるなど、若者が将来に希望を抱くことができ、地域全体で子育てを応援するまちづくりを推進します。また、防災や防犯対策等の充実を図り、市民の生命と暮らしを守る安全・安心な地域づくりを推進します。

### 【KGI】

KGI	基準値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
出生数	191 人 (2024 年)	210 人 (2030 年)
年少人口	4,491 人 (2024 年)	3,460 人 (2030 年)

### 【基本施策】

(1) こどもを産み育てやすい環境づくり (2) いのちを守る安全な環境づくり

## 基本戦略4 一人ひとりの魅力が輝くまちをつくる

### 【基本的方向】

行政と地域、学校と地域、自治体間の連携などにより、地域の課題解決と活性化を図り、郷土愛の醸成や地域の個性を生かした魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、地域住民が互いに支え合い、生涯にわたって健康で生き生きと暮らせる共生社会を目指します。また、DX（デジタル・トランスフォーメーション）への取組により、市民の利便性の向上と行政の業務改善（BPR）を図ります。

### 【KGI】

KGI	基準値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
健康寿命	男性：80.29 歳 女性：84.99 歳	平均寿命の増加分 を上回る増加
赤穂市に愛着を持っている人の割合	※（73.3%）	90.0%

※2030赤穂市総合計画の見直しに当たって実施した  
中高生アンケートの設問「まちの愛着度」で、「大  
好き」又は「どちらかといえば好き」と答えた割合

### 【基本施策】

(1) 地域力の向上 (2) 多様な連携 (3) 健康に暮らせる環境づくり (4) DX 推進基盤の整備

# 地方創生の実現・推進に向けて

## ①産官学等との連携・協働

- これからの地方創生では、人口減少や少子高齢化といったまちが抱える課題をより効果的に、より迅速に行うために、市民や企業・他自治体といった多様な主体と連携していく必要があります。
- 多様な主体との連携を円滑に行うために、それぞれの主体との情報共有を進めるとともに、市民活動や企業活動へのサポートとなる施策を推進します。

## ②人口減少を正面から受け止めた取組

- 国が令和7年に策定した「地方創生2.0基本構想」では、人口減少が当面の間は続くことを正面から受け止め、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる「人口減少適応策」を講じることが示されています。
- 本市においても「地方創生2.0基本構想」を勘案し、「人口減少適応策」となる施策を進め、人口が減少しても活力のあるまちを目指すとともに、引き続き、人口減少を抑制し、「人口減少対策」を推進します。

## ③デジタル・DXの活用

- 国が策定した「地方創生2.0基本構想」の基本的な考え方では、「デジタル・新技術の徹底活用」が示されています。本市においてもデジタルの力により、これまで進めてきた地域の課題解決や地域の魅力向上に向けた取組を、さらに発展・充実させていきます。
- 新たに「plus デジタル活用・DX推進」として、基本施策における横断的な取組としてデジタル・DXの活用施策を明記しています。

## ④客観的な効果検証の実施

- 4つの基本戦略の柱ごとにKGIを設定し、総合戦略における最終目標を定量的に定めているほか、各基本施策の施策達成に向けて、目標数値（KPI）を設定しています。
- 達成状況については毎年度検証を行い、施策の進捗状況や課題について把握し、改善を行うなどPDCAサイクルを実施し、実効性を高めます。
- 効果検証の妥当性・客観性を確保するため、「赤穂市総合戦略推進委員会」による検証を行います。

## 2030 赤穂市総合計画 後期基本計画・ 2030 赤穂市総合戦略

—概要版—

発行年月：2026年（令和8年）3月

発行：赤穂市 市長公室 企画政策課

〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋 81 番地

TEL 0791-43-6867 FAX 0791-43-6822